

総合交通メールマガジン

第24号

平成22年6月30日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

目次



Column

- ・神戸大学 喜多教授「公共交通サービスの担い手について」



Topics

- ・地域のモビリティ確保事例に関するデータベースの公開



地域の取組紹介

- ・石川県金沢市



Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

Column



神戸大学 喜多教授

「公共交通サービスの担い手について」

地域の足を確保する担い手について、どうあるべきかといった論点については、現在検討されている交通基本法の中でも議論されている重要な視点の一つであり、地域で実務に当たられている方々にとっても重要な課題です。こうした「（公共交通の整備を行うのは）官か民か、国か地方か」という問いかけに対するご示唆として、神戸大学 喜多教授より「公共交通サービスの担い手について」と題して、ご寄稿頂きました。是非ご一読下さい。

【コラム全文についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1006kobe-univ.pdf>

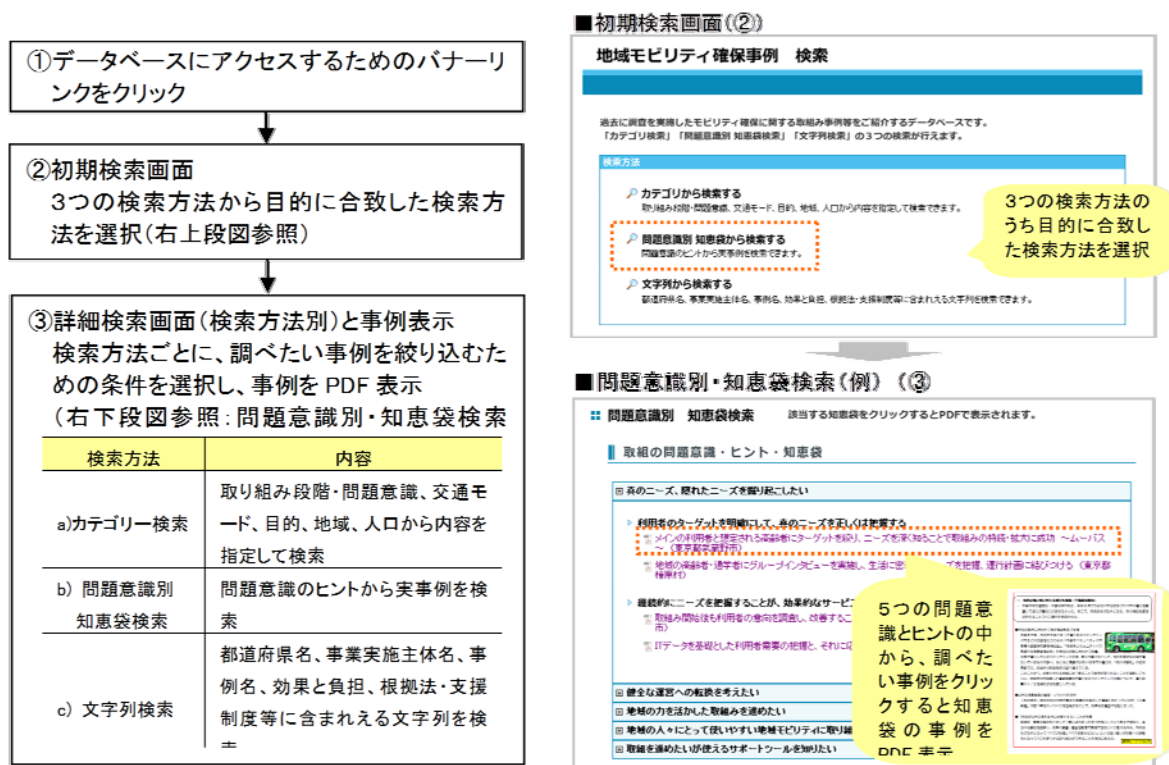
Topics

地域のモビリティ確保事例に関するデータベースの公開

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

地域のモビリティ確保に関する取組みを成功に導くための「知恵」や「ヒント」となるものや、
具体の事例概要について、知りたい情報を分かりやすい形で提供するため、地域のモビリティ確保事例に関するデータベースを作成、公開しました。

以下のアドレスに UP しましたので、ご利用下さい。ご活用頂き、ご意見等ございましたら、
お知らせ頂ければ幸いです。



検索機能の例

【「地域のモビリティ確保事例に関するデータベース」へのリンク】

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000001.html

地域の取組紹介

石川県金沢市(バストリガー方式の導入)

地方都市の公共交通がおかれている状況は厳しく、金沢市でも公共交通の利用者減少の問題を抱えていました。そこで、金沢市では、公共交通の確保にあたって、利用者の理解を高めかつ具体的な協力への責任を持ってもらうという視点に基づき、「バストリガー方式」によるバスの運行を始めました。

「バストリガー方式」とは、金沢市の仲介のもと、バス事業者と利用者が合意（バストリガー協定の締結）の上で、バス運賃や路線の新設・延長、運行ダイヤの増便などを決定するもので、新規取組路線に関する採算ライン（利用者数による指標設定を想定）を設定し、それを下回った場合は取組を止めることができるという方式です。

この方式は、交通事業者にとっては、事業展開の実効性を高めるとともに、期待した効果が得られなかった場合の責任を利用者と分け合うことによるリスクの軽減がメリットとなります。一方、利用者にとっては、積極的かつ継続的にバスを利用するという一定の責任を担う代わりに利便性の向上が実現できるという、努力、責任、リスクを担いつつ双方に利点がある winwin の関係により成立しています。

このような「金沢バストリガー方式」の導入に関する取組について、金沢市から紹介頂きます。



金沢大学地区での運行

【金沢市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.ml.it.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1006kanazawa.pdf>

金沢市の公共交通政策：<http://www4.city.kanazawa.ishikawa.jp/11031/>

Information

総合交通メールマガジンの受付窓口の変更についてお知らせ下さい。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@ml.it.go.jp

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させて

いきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL: <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて44件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



今回の「総合交通メールマガジン」では、Columnとして、神戸大学 喜多教授より、「公共交通サービスの担い手」についてご寄稿頂きました。この場をお借りして、喜多教授に御礼申し上げます。また、地域の取組紹介として、石川県金沢市から、バスの運行に関して、利用者と事業者双方が責任とリスクを負うバストリガー方式の導入に関する取組について紹介頂きました。業務等のご参考にして頂ければ幸いです。

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 小林寛

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

